

(1)事業の概要等

事業番号	B0700
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	健康生きがい推進事業				担当部			健康生きがい支え合い推進部													
	事業期間	平成2年度	～	令和7年度以降		担当課			健康生きがい推進課													
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本 施策	7	展開 方向	担当係			健康政策係													
	予算区分	一般会計	款	4	項	1	目	1	大	8	中	1										
	根拠法令・個別計画	第2次健康日本21こまき計画				事業種別			一般事業													
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	すべての市民が健康で生きがいを持ち、市民同士が地域で互いに支え合い助け合うため、健康・生きがいづくり支援と支え合いの地域づくりを両輪とした「活力ある高齢社会(小牧モデル)」を実現することにより、健康寿命の延伸を目指す																				
	対象 (何・誰を対象に)	すべての市民																				
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>○令和4年度の実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 小牧市民健康づくり推進協議会 第2次健康日本21こまき計画健康こまきいきいきプラン後期計画に基づき、健康づくり事業について協議した。 【実績】3回開催 新型コロナウイルス感染症対策生活支援 新型コロナウイルスに感染し、自宅療養を余儀なくされた方に対する支援策として、自宅療養セットを供給した。 【実績】811世帯 保健事業と介護予防の一体的実施 フレイル予防をはじめとした高齢者の保健事業と介護予防を一体的に推進するため、KDB等のデータを活用するとともに、市民に対し普及啓発を実施した。 <p>○経費</p> <table border="0"> <tr> <td>R4:5,237千円(決算)</td> <td>R5:9,792(当初予算)</td> </tr> <tr> <td>(内訳)</td> <td>(内訳)</td> </tr> <tr> <td>謝礼 231千円</td> <td>謝礼 0千円</td> </tr> <tr> <td>生活支援 4,637千円</td> <td>生活支援 150千円</td> </tr> <tr> <td>その他 369千円</td> <td>その他 9,642千円</td> </tr> </table> <p>※うち、新プラン策定経費7,656千円</p>											R4:5,237千円(決算)	R5:9,792(当初予算)	(内訳)	(内訳)	謝礼 231千円	謝礼 0千円	生活支援 4,637千円	生活支援 150千円	その他 369千円	その他 9,642千円
	R4:5,237千円(決算)	R5:9,792(当初予算)																				
(内訳)	(内訳)																					
謝礼 231千円	謝礼 0千円																					
生活支援 4,637千円	生活支援 150千円																					
その他 369千円	その他 9,642千円																					
受益者負担	無																					

(2)事業費

		項目	単位等	R1	R2	R3	R4	R5	
事業費	直接経費	決算額	財源	一般財源	千円		1,292	7,103	4,988
			国・県支出金	千円		0	100	249	
			その他	千円		—	—	—	
		計(A)	千円	0	1,292	7,203	5,237		
		対前年比	%	—	—	557.5%	72.7%		
	予算額	千円		1,588	1,403	1,818	9,792		
	人件費	正規職員	人		1.00	1.25	1.50		
		正規職員(平均賃金)	千円	0	7,486	9,358	11,229		
		その他職員	人		0.2	0.5	0.5		
		その他職員(時給×時間)	千円		23	115	98		
計(B)	千円	0	7,509	9,473	11,327				
事業費合計(C=A+B)	千円	0	8,801	16,676	16,564				

(3)業績

展開方向における指標の推移		基本施策		7		展開方向	
指標名	単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5
1							
2							
3							

指標	指標ほか		単位		R1	R2	R3	R4	R5
	成果指標	健康寿命(男性)	年	目標	↗	↗	↗	↗	↗
				実績	80.34	—	—	—	
	健康寿命(女性)	年	目標	↗	↗	↗	↗	↗	
			実績	84.19	—	—	—		
	活動指標	フレイルチェック測定者数	人	目標	—	—	↗	↗	↗
				実績	—	—	813	436	
	生活支援数	世帯	目標	—	—	—	—	—	
			実績	—	72	738	811		
	単 位 あ た り 事 業 費	受益者数(a)		人	—	—	—	—	
受益者あたり事業費(=C/a)		円	—	—	—	—			

(4)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの				
	事業の達成状況と課題	<p>令和2年度に健康生きがい推進課が新設され、専任の保健師が配置されるとともに、庁内連携プロジェクトチームを設置運営したことにより、本市の保健事業と一体的実施に向けた体制を構築することができた。</p> <p>フレイル対策については、メインターゲットが高齢者であり、コロナ禍により、地域の活動が制限される中で、感染症対策を意識しながら実施したことから、思うように展開することができなかった。</p> <p>また、新型コロナウイルスに感染したことに伴う自宅療養者への生活支援については、自身や家族の体調に不安を抱えた状態にある市民に対し、日常生活に必要な食料品や日用品を配達することで市民の生活不安を取り除くことができた。</p>					
	今後の実施内容	<p>小牧市民健康づくり推進協議会については、令和4年度をもって廃止する。(令和5年度からは、新たに小牧市健康づくり推進審議会を設置・運営)</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策生活支援については、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが緩和される令和5年5月8日をもって終了する。</p> <p>健康づくりの習慣化、フレイル予防については、地域や個人で継続的に展開されることを目指し、地域での取り組みを拡充する。</p> <p>(R5年度当初予算のうち、7,656千円は新プラン策定に係る臨時的経費)</p>					
事務事業評価による額	150千円 節		細節		細々節		
<p>・新型コロナウイルス感染症対策生活支援 150千円(R5予算)-0(R6予定予算)=150千円</p>							